

公共事業等施行状況調（令和5年12月末）

県 分

（単位：百万円、％）

工種区分	年 度	予 算 措 置 額				本工事費契約額及び契約率				備 考
		事 業 費		本 工 事 費		( 1 2 月 末 )				
		5年度	4年度	5年度 A	4年度 B	5年度 C	C/A	4年度 D	D/B	
1	治山・治水	35,902	31,974	21,931	22,729	12,159	55.4	14,336	63.1	
2	農林・水産	38,294	39,201	30,243	31,935	20,735	68.6	22,147	69.4	
3	道 路	69,333	70,899	39,235	48,586	26,513	67.6	30,005	61.8	
4	港湾・空港	10,293	9,155	5,418	4,748	2,763	51.0	2,704	57.0	
5	下水道・公園	10,795	9,400	2,520	2,329	1,855	73.6	1,149	49.3	
6	住 宅	1,871	1,489	1,404	1,051	1,173	83.5	911	86.7	
7	庁 舎	3,088	2,467	2,788	2,315	2,070	74.2	1,923	83.1	
8	土地造成	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	
9	鉄道・軌道	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	
10	学校・病院	6,586	4,047	3,957	2,780	2,704	68.3	1,817	65.4	
11	工業用水・上水道等	1,251	950	344	83	265	77.0	78	94.0	
12	災害復旧	8,619	954	4,849	809	4,849	100.0	411	50.8	
13	その他	6,508	7,584	4,299	4,274	3,506	81.6	3,099	72.5	
	計	192,541	178,121	116,988	121,639	78,591	67.2	78,581	64.6	

※項目ごとに端数処理をしているため計と一致しない場合がある。

公共事業等県内県外別発注実績（令和5年12月末）

（単位：社、件、百万円、％）

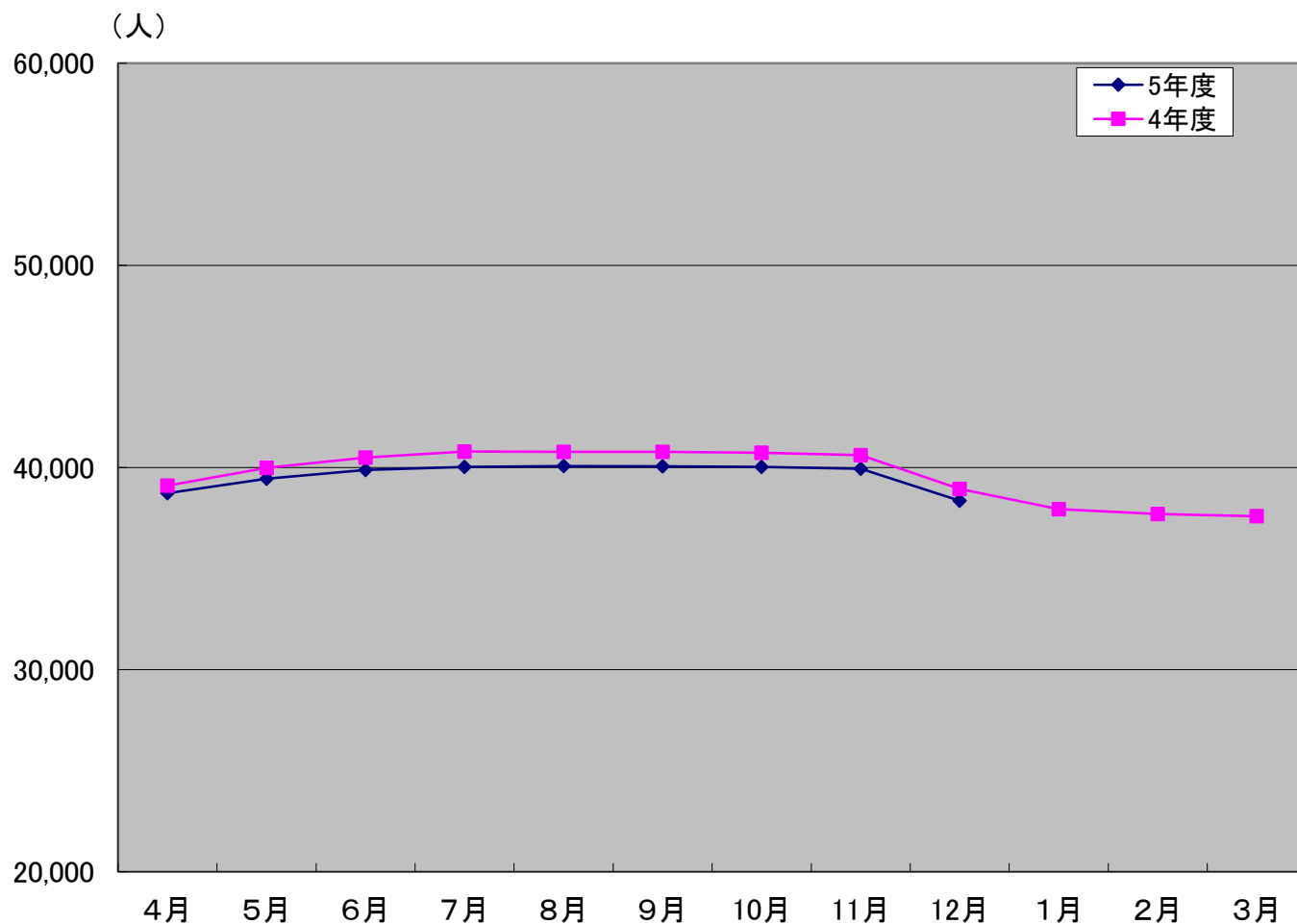
事項 区分	予算措置額 (A)		発注実績 合計 (B)											
	事業費	本工事費	県内 (C)			県外 (D)			共同企業体 (E)					
指名業者等			契約	金額	指名業者等	契約	金額	指名業者等	契約	金額	指名業者等	契約	金額	
5年度	192,541	116,988	22,650	2,207	78,591	22,132	2,098	69,540	447	84	3,833	71	25	5,218
					B/A 発注率 67.2	C/B 97.7	95.1	88.5	D/B 2.0	3.8	4.9	E/B 0.3	1.1	6.6
前年度比	108.1	96.2	99.0	96.7	100.0	99.0	96.0	97.7	89.4	100.0	90.0	169.0	178.6	166.0
4年度	178,121	121,639	22,889	2,283	78,581	22,347	2,185	71,177	500	84	4,260	42	14	3,144
					B/A 64.6	C/B 97.6	95.7	90.6	D/B 2.2	3.7	5.4	E/B 0.2	0.6	4.0

被保険者数

	5年度	4年度
4月	38,728	39,104
5月	39,445	39,983
6月	39,880	40,493
7月	40,020	40,790
8月	40,068	40,778
9月	40,056	40,773
10月	40,031	40,728
11月	39,936	40,608
12月	38,353	38,934
1月		37,942
2月		37,700
3月		37,587

前月末被保険者数	39,936
資格取得者数	378
資格喪失者数	1,971
転入者数	10
転出者数	0
今月末被保険者数	38,353

雇用動向(建設業における雇用保険の加入動向)12月末



建設資材の需給・価格動向調査 (6年1月)

	需給動向									価格動向									備 考							
	青 森			弘 前			八 戸			県平均			青 森			弘 前				八 戸			県平均			
	緩 和	均 衡	逼 迫	緩 和	均 衡	逼 迫	緩 和	均 衡	逼 迫	緩 和	均 衡	逼 迫	上 昇	安 定	下 落	上 昇	安 定	下 落		上 昇	安 定	下 落	上 昇	安 定	下 落	
セメント		○			○			○			○			○			○			○			○			普通ポルトランド(バラ)でトン当たり18,400円と前月比変わらず。11月の青森県内の販売量は3万1千トン(協会調べ)で前年同月比13.9%減。需要低迷による出荷減が長期に渡っており、前年同月実績を下回る状況に歯止めがかけられない。価格面では、メーカー各社は、悪化した事業採算の改善とカーボニュートラルに向けた設備投資のため製品価格維持の構え。一方、物流業界における労働時間規制の適用が4月に迫っており、輸送コストへの影響が懸念され、販売価格の動向が注目される。先行き、横ばいの見通し。
コンクリート製品		○			○			○			○			○			○			○			○			農業土木向け、民間工事向けの需要が好調であり、昨年度比で県内出荷はやや増加している。コンクリート製品メーカー各社は、セメント、電力料金の値上がりや輸送コストの増加を理由に、値上げの上積みを含め交渉を継続している。需要家は製造コストが増加している状況に理解を示し、安定調達を優先する姿勢。先行き、強含みの公算が大きい。
生コンクリート		○			○			○			○			○			○			○			○			県内の12月の出荷量は3万8千m3(生コン工組調べ)で前年同月比8.4%の減少。小規模工事向けが中心で県内全体の生コンの商状は盛り上がり欠いている。一部メーカーは、骨材価格の先高値、輸送コストの増加などを理由に、次年度さらなる値上げを予定している。メーカーのこうした動きに、需要家は理解を示しつつも慎重な姿勢を崩していない。先行き、横ばいの公算が大きい。
砕 石		○			○			○			○			○			○			○			○			生コン用、道路用とも大型物件は少なく、出荷は低調に推移している。販売量は伸び悩む状況が続いているが、一部メーカーは運転手確保に向けた輸送コストの増加や電力料金の高騰、出荷量減少に伴う固定費率の上昇を理由に、次年度さらなる値上げを予定している。メーカーのこうした動きに、需要家は理解を示しつつも値上げ受け入れには慎重な姿勢を崩していない。先行き、横ばい推移の公算が大きい。
小 棒		○			○			○			○			○			○			○			○			SD295・D16でトン当たり113,000円と前月比変わらず。需要低迷が続いており、市中取引は閑散としている。メーカー各社は、原料の鉄スクラップ価格や電力料金が高値圏で推移していること、今後想定される物流費の上昇などを背景に、販売価格の引き上げを継続して訴えている。一方で、需要家は製品価格が割高であるとし、当用買いに徹しながら値下げ要求の姿勢を示している。しばらくは供給側と需要家のこうした状態は続くものとみられる。目先、横ばいで推移する公算が大きい。
アスファルト		○			○			○			○			○			○			○			○			12月の県内出荷量は5万3千トン(合材協会調べ)で前年同期比39.2%の増加。出荷量は前年同月を上回るものの、維持修繕など小規模工事向けが中心で商状は盛り上がり欠いている。主な原材料であるストラス価格が足元で下落に転じるなか、メーカー各社は未達分の値上げの浸透を目指して交渉を継続している。メーカーのこうした動きに、需要家は理解を示しつつも値上げ受け入れには慎重な姿勢を崩していない。先行き、横ばい推移の公算が大きい。
木 材		○			○			○			○			○			○			○			○			管柱 杉(KD)3.0m×10.5×10.5cmでm3当たり89,000円と前月比変わらず。11月の県内新設住宅着工戸数は330戸で前年同月比27.9%の減少(国土交通省調べ)、ウエイトの高い持家が前年同月比22.1%の減少、貸家が同54.1%の減少などとなっている。中東情勢の不安定化や円安の長期化などによる物価高、住宅建設費の上昇を背景に、広域的な新設住宅着工の低迷に歯止めがかけられない。昨年8月に発生した北関東エリアの製材大手業者拠点工場火災の影響で、関東・東北全域で米松材の品薄が続いている。流通業者は、欧州材や国産材による代替対応を続けており、市場に大きな混乱は生じていない。目先、横ばいの見通し。
油 類		○			○			○			○			○			○			○			○			軽油はミニローリー渡しでリットル当たり126円、重油はローリー渡しでリットル当たり87円とともに前月比2円上伸。需給緩和の見方が根強く残るなか、米国の利下げ転換示唆や中東の石油輸送リスクの高まりを受け、原油相場は方向感を欠き、不安定な状況が続いている。一方、国内では補助金により価格の変動は抑制され、小幅な動きに留まっている。原油相場はなおも不透明な状況が続くものとみられるが、国内市況は補助金により安定する見込み。目先、横ばいの見通し。
型枠合板		○			○			○			○			○			○			○			○			12×900×1,800mm輸入品で枚当たり1,850円と前月比変わらず。産地価格の高止まり、円安による仕入れ高を背景に、流通筋は販売価格への上乗せを目指して需要家との交渉に臨んでいる。需要家は様子見の姿勢を強め、当用買いに徹している。流通筋は採算確保に向けて売り腰を強めたい意向だが、直近の為替が円高に転じた影響もあり、価格交渉が進展するには時間を要する見込み。目先、横ばいの見通し。
形 鋼		○			○			○			○			○			○			○			○			200×100でトン当たり125,000円と前月比変わらず。市中の荷動きへの影響が大きい中小建築需要は依然として低調に推移しており、需給にタイト感は見られない。一部メーカーの物件向け価格への値上げ表明を受け、先安値は解消されつつあり底値感が出てきた。流通各社は採算割れと先高値を懸念し、安値受注の回避に努めている。需要家は今後の値上げと需要動向を注視しつつ、底値を見極めるべく当用買いに徹している。様子見の展開が続く、目先、横ばいで推移する見通し。

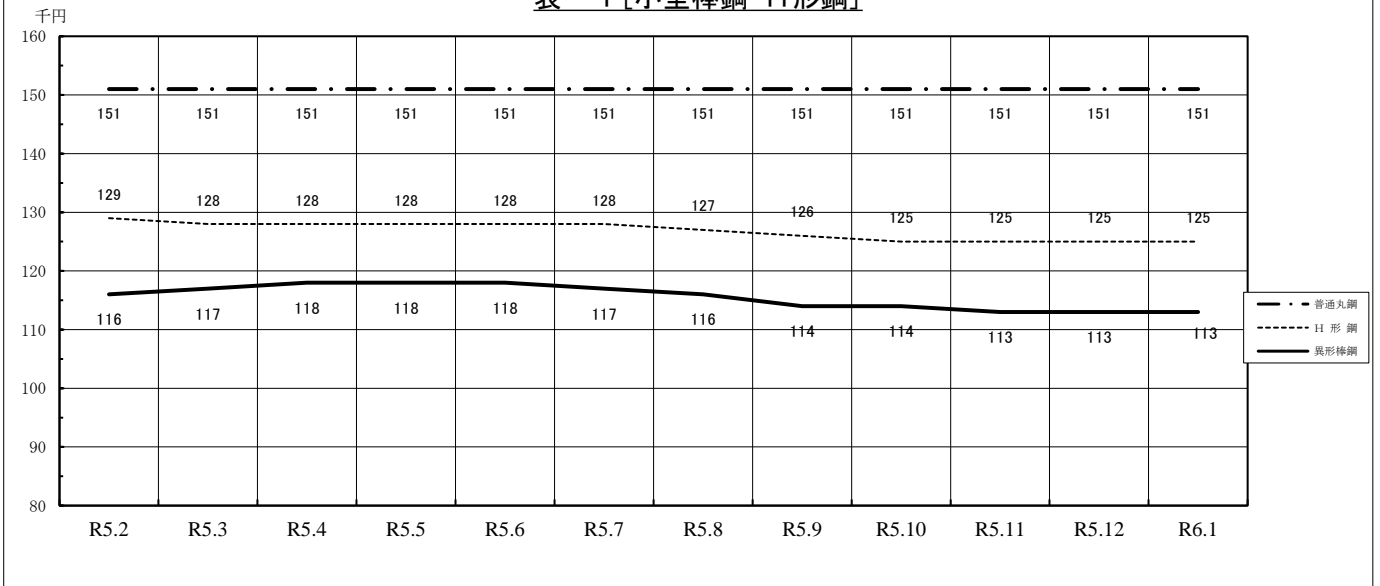
(価格動向欄の上昇・下落は、3%以上の変動とする。)

建設資材の需給・価格動向調査 (6年1月)

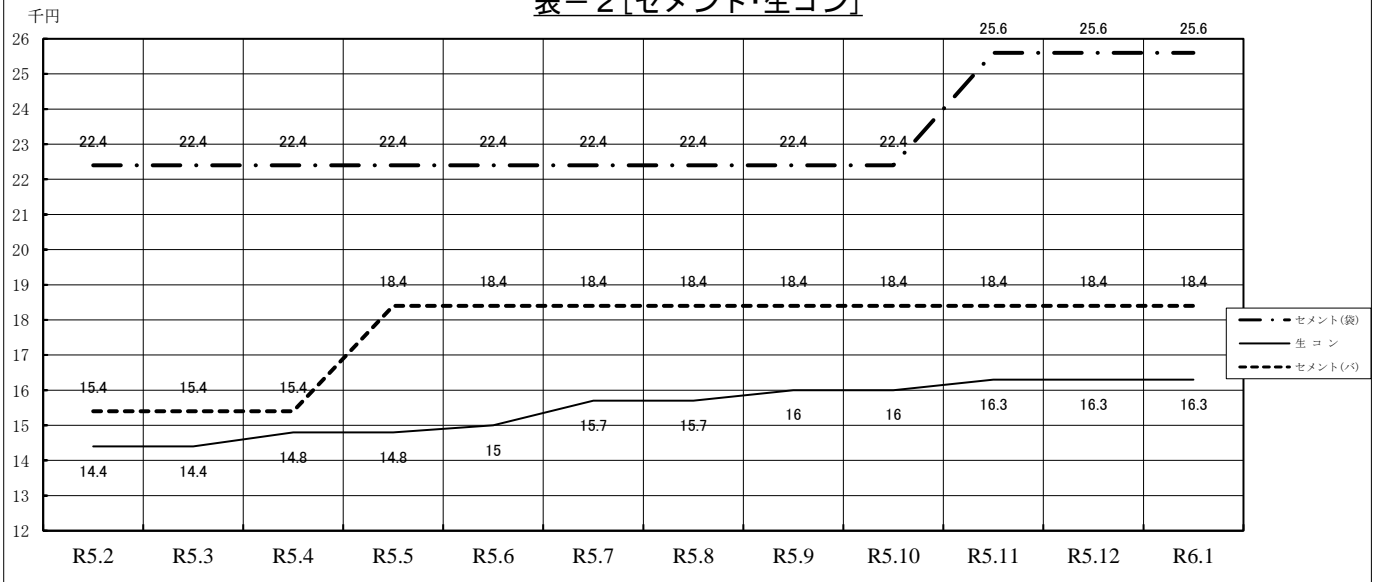
区 分	品 名 ・ 規 格	単 位	青 森		弘 前		八 戸		県 平 均		備 考
			価 格 (円)	前月比 (%)	価 格 (円)	前月比 (%)	価 格 (円)	前月比 (%)	価 格 (円)	前月比 (%)	
セメント	バラセメント(普通ポルトランド)	t	18,400	0.0	18,400	0.0	18,400	0.0	18,400	0.0	
セメント	袋物セメント(普通ポルトランド)25kg入	袋	640	0.0	640	0.0	640	0.0	640	0.0	25,600円/t
コンクリート製品	U形側溝300B L=1m	本	3,570	0.0	3,570	0.0	3,570	0.0	3,570	0.0	
コンクリート製品	ベンチフリューム400型 L=2m	本	7,000	0.0	7,000	0.0	7,000	0.0	7,000	0.0	
コンクリート製品	ヒューム管B型 φ600 2.43m	本	44,700	0.0	44,700	0.0	44,700	0.0	44,700	0.0	外圧管1種
生コンクリート	18-8-40	m3	15,800	0.0	15,600	0.0	17,500	0.0	16,300	0.0	
碎石等	洗砂	m3	3,500	0.0	3,400	0.0	4,900	0.0	3,933	0.0	
碎石等	コンクリート用碎石 25~5mm	m3	4,300	0.0	4,400	0.0	4,900	0.0	4,533	0.0	
碎石等	切込碎石 40~0mm	m3	3,400	0.0	3,500	0.0	3,700	0.0	3,533	0.0	
小形棒鋼	普通丸鋼SR235 φ13mm	t	151,000	0.0	151,000	0.0	151,000	0.0	151,000	0.0	
小形棒鋼	異形棒鋼SD295A D16~25mm	t	113,000	0.0	113,000	0.0	113,000	0.0	113,000	0.0	
アスファルト	ストレートアスファルト 針入度60~100	t	113,000	-7.4	113,000	-7.4	113,000	-7.4	113,000	-7.4	60~80
アスファルト	アスファルト混合物 密粒度13	t	15,100	0.0	15,400	0.0	14,300	0.0	14,933	0.0	149,330円/10t
木 材	管柱 杉(KD) 長3m×厚10.5cm×幅10.5cm	m3	89,000	0.0	89,000	0.0	89,000	0.0	89,000	0.0	
油 類	軽油(ミニローリー渡し)	L	126.0	1.6	126.0	1.6	126.0	1.6	126.0	1.6	126,000円/kl
油 類	重油(ローリー渡し)	L	87.0	2.4	87.0	2.4	87.0	2.4	87.0	2.4	87,000円/kl
型枠合板	12×900×1800mm	枚	1,850	0.0	1,850	0.0	1,850	0.0	1,850	0.0	
H形鋼	SS400 200×100×5.5×8mm	t	125,000	0.0	125,000	0.0	125,000	0.0	125,000	0.0	

建設資材需給・価格動向調査結果（県内平均）

表一 [小型棒鋼・H形鋼]



表二 [セメント・生コン]



表三 [骨材]

